

中学3年 単元名「海と人の関わりを捉え直す②」（6時間）

1 単元設定の理由

- ・ 中学2年までの学びをふまえたうえで、海洋に関する存在論的な学びを深めさせる。
このような学びをへて、人間の生活と海洋（自然環境）の関係の捉え直しをさせる。
- ・ 海との関わりを通して生徒が自分自身の生き方を捉え直す。

2 単元目標

- ・ 月や深海乱流と深層海流循環の関係など海洋力学に関する問題を知ること、海洋に関する学問的関心や海洋と人間の関係についての興味関心を高める。
- ・ 上記の興味関心をさらなる探究活動に促す。
- ・ 海での遠泳実習を通じて、ヨット帆走とは異なる側面から海を体感し、人間にとっての海洋のあり方を考察する。

3 単元の評価基準

- ・ 講義にもとづくレポート作成による自己評価
- ・ ヨット帆走実習に関するレポート作成による自己評価
- ・ 遠泳実習に関するレポート作成による自己評価

4 単元の指導計画

| 時 | 学習活動 | 指導上の留意点 |
|---|------------------------------------|--|
| 5 | ヨット帆走実習 | <ul style="list-style-type: none">・ 中学最後のヨット帆走実習であり、準備・片づけ等迅速に行なうよう指導する。・ 風や波の状態や艇の操作について把握・確認したうえで他者と協力するよう指導する。 |
| 6 | ヨット帆走実習に関するレポート作成～中学3年間の帆走実習を振り返る～ | <ul style="list-style-type: none">・ 中学3年間のヨット帆走実習をふまえて、海に対する理解や自分の成長についても分析するよう促す。 |
| | | |
| | | |

外部連携 / 教材等

海洋学特別講義は、講義内容や講師に関して、東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターとの連携のうえで、実施するものである。